

14. 子ども虐待診療における診療記録

虐待が疑われる子どもを診療した場合、診療録の記載についていくつか留意しておいた方がよい事柄があります。これは、後日、虐待状況を確認する際に参考になります。また、保護者からクレームを受けたときに、それに対応する上でも有用になります。

1. 診療記録(カルテ)の記載

相手が話したことばをそのまま、誰が話したかと一緒に記載するのが原則です。

1) 問診に関して

- (1) 聞いた内容の話し手は誰なのかを必ず記載します。母親なのか、父親なのか、祖母なのか、などです。
- (2) 保護者(相手)が話した通りのことばでそのまま記載します。
『弟が机から患児の腹部に飛び降りた』ではなく、「弟が机の上から飛び降りたら、この子のお腹に当たってしまったようです」など。
- (3) 外傷・熱傷の場合、受傷状況について、保護者がどうしてそう思うのかを尋ね、保護者の言ったことばの通りに記載しておきます。

2) 子どもの所見に関して

通常の外傷であればその治療が第一の目的ですから損傷の記載は簡単でも許されるでしょう。しかし、虐待が疑われる場合には、医学的な診断が虐待の判断を下す際の重要な情報となるので、正確で詳細な記載が求められます。

- (1) 外傷は、部位、大きさ、形、色、パターン、広がり、数を記載しておきます。
(例)「右頬部に直径4cm 前後内出血斑が1個あり。不定形。暗紫色。」など
- (2) カルテに外傷をスケッチし、そこに色名を書き込むこともいいでしょう。外傷が多発性である場合は、人形図に書き込むことも考慮します。
- (3) 治療を必要とするものだけではなく、治癒過程にあるものや、すでに瘢痕や色素沈着となっているものも見落とすことなく記載することが肝腎です。

3) その他

- (1) 診察中、気になる保護者の言動がありましたら、それをそのまま記載します。この場合、こちらの判断が入らないように注意します。
(例)「子どもの身体診察中、両親は少し離れたところに立って、二人で仕事の話をしていた」などと記載する。
- (2) 患児やそのきょうだいが何か話したり、その態度・行動で気になることがあったりしたときは、それもそのまま記載します。
(例)「外傷について患児本人に尋ねたが、下を向いて返答がなかった」
「いっしょに来ていたきょうだいに、けんかについて『お兄ちゃんとけんかしちゃったのかな?』と尋ねたが、あいまいな表情でうつむいてしまった」など。
- (3) 診察日時を記載しておきます。時間を記録するのは忘れやすいので注意します。
- (4) 病院に来た家族は、全員、誰が来たのかを記録しておきます。
- (5) 診察した医師は診療録に署名をしておきます。

4) 虐待の判断について

虐待が疑われる、あるいは否定できないと思われた場合、その旨を記載しておきます。

2. 虐待の疑いがある子どもの写真撮影上の留意点

外傷の状況などは、図で記録するほか、写真で記録することを積極的に考えます。写真は、診療録の一部として保存されることになります。

1) 保護者への説明

保護者には、「外傷の経過をきちんと診ていくために、写真で記録を取っておくことが大切なので」と説明するとよいでしょう。

子ども本人への説明も、同様な内容でよいでしょう。

2) 撮影の概要

外傷を撮影する場合、どんな傷であっても、それが**身体のどこなのか分かる写真と、その外傷をクローズアップした写真の2枚1セットで撮影するのが原則**です。

3) 撮影の実際

(1) タイムスタンプ(日時)を入れます。

(2) 可能なら、顔が入った全身像を撮影しておきます。

(3) 主要な外傷・所見

①. 外傷・所見が身体の中のどの部位かを示す写真(全体像)を必ず撮影しておきます。

②. 全体像と接写の2枚を基本にして、異なる視点と異なる距離で複数枚の撮影するのがよいでしょう。

③. 腫れている外傷は、斜めの視点あるいは、斜めからの光源でも撮影しておくといよいでしょう。

(4) 外傷の大きさが分かるように、大きさの基準となる物を(定規など)と一緒に撮影します。

(5) 子どもの名前も撮影しておくといよいでしょう。簡単なのはカルテの表紙を撮影しておくことです。

(6) 可能な限り、時間経過を追って撮影するようにします。

(7) デジタルカメラの場合

①. 手元にあるカメラの中でできるだけ高画素数のカメラを使用します。

②. そのカメラの最高画質で撮影します。

③. 撮影したときに、きちんと撮れているかどうか写真を確認しておきます。

④. 診察室の照明に合わせたホワイトバランス調節を行います。できれば、診察室に置いておくデジタルカメラは、事前に調整しておくようにするとよいでしょう。

(8) 通常のフィルムカメラの場合は、露出を変えて何枚か撮影しておくといよいでしょう。